

2024

しがの生協

No.198

TOPICS
トピックス

第50回通常総会を開催



自石会長



司会
コープしが
三谷代議員



〈来賓〉
滋賀県
県民活動生活課
植村課長



〈来賓〉
日本生活協同組合連合会
関西地連
村上事務局長

滋賀県生協連第50回通常総会を開催

6月29日(土)、滋賀大学教育学部学生会館において、第50回通常総会を開催しました。

ご来賓7名、役員16名、代議員44名(本人26名、書面15名、委任3名)、オブザーバー3名事務局を含む総勢67名が出席・参加し、滋賀県生協連の取り組み報告や会員生協からの発言により、全議案について満場一致により可決承認されました。

- 第1号議案 2023年度活動報告及び決算、剰余金処分案承認の件
- 第2号議案 2024年度活動計画及び予算承認の件
- 第3号議案 定款一部改正の件
- 第4号議案 役員選挙規約改正の件
- 第5号議案 規約類一部改正の件
- ※第6号議案 役員改選の件
- 第7号議案 役員報酬決定の件

※第6号議案の役員改選は、定数内で無投票による全員当選となりました。



滋賀大学生協での総会の様子

◇来賓



- | | | |
|-----------------|-----------|---------|
| 滋賀県知事 三日月大造様代理 | 県民活動生活課長 | 植村 拓也 様 |
| 日本生活協同組合連合会関西地連 | 事務局長 | 村上 毅 様 |
| 滋賀県労働者福祉協議会 | 専務理事 | 山本 俊夫 様 |
| 滋賀県農業協同組合中央会 | 総務教育部部長代理 | 岡本 公人 様 |
| 近畿労働金庫滋賀地区本部 | 本部長 | 池内 正博 様 |
| 消費者ネット・しが | 理事長 | 伊藤 慧 様 |
| 滋賀県森林組合連合会 | 代表専務理事 | 櫻井 悟 様 |

2024年度(第44期)役員名簿

役職名	氏名	出身生協
会長○	白石 一夫	生活協同組合コープしが・理事長
副会長	森井 和則	滋賀県立大学生協同組合・専務理事
専務理事○	森井 徹	滋賀県生協連・専務理事
常務理事	池添 達也	滋賀県勤労者共済生活協同組合・専務理事
常務理事	横井 浩二	滋賀県勤労者住宅生活協同組合・常務理事
理事	濱田 弥生	生活協同組合コープしが・副理事長
理事	熊沢 初美	生活協同組合コープしが・常任理事
理事	寺田 真	生活協同組合コープしが・常務理事
理事	福塚 友見	しが健康医療生活協同組合・専務理事
理事	佐藤 由紀	滋賀医科大学生活協同組合・理事
理事	山下 崇輝	生活クラブ生活協同組合・専務理事
理事	日永 勇介	グリーンコープしがまる生活協同組合・業務担当理事
理事*	関野 博之生	滋賀大学生協同組合・専務理事
理事*	陌間 秀幸	滋賀県職員生活協同組合・専務理事
監事	海老澤 文代	生活協同組合コープしが・監事
監事	金岡 英明	しが健康医療生活協同組合・理事

◇会員生協からの発言◇

滋賀県勤労者住宅生活協同組合

河野 航 代議員



滋賀県住宅生協は、誰もが豊かに安心して暮らせる地域社会を目指して自主福祉運動を進める組織の中で、住宅関連の役割を担いながら様々な取り組みを進めています。

草津にある立命館大学理工学部建築都市デザイン学科の学生が運営する「学生団体Clown」と連携し、地域交流の場所となるツリーハウスの制作に協賛しています。学生団体Clownと住宅生協の提携企業が参加する「企業説明会」も開催しており、滋賀県で建築の専攻分野を学ぶ学生と提携企業とのマッチングの創出と地域企業の人材確保を目指して取り組んでいます。今後とも会員生協の方々と連携をすすめて参ります。

滋賀医科大学生活協同組合

二見 公一郎 代議員



滋賀医大生協も22年目を迎今年2月より食堂の改装が始まり、生協のある福祉棟に立ち寄る学生が減ってきています。7月から生協存続のため、立命館大学生協の店長を中心としたメンバーが臨店し、サポートする形となります。

組合員にはご苦労とご心配をおかけしていますが、組合員と助け合い、支え合える生協運営をすることが大切なことではないかと考えています。組合員同士お互いが学びあいにつなげたりすることが出来るように頑張りたいと思います。

滋賀県勤労者共済生活協同組合

池村 淳司 代議員



国連総会にて、2025年を2回目の国際協同組合年とすることが決議されました。今後、より一層協同組合への注目が集まることが想定される中、自生協のみならず、すべての生活協同組合が一歩でも二歩でも進化・発展していく必要があります。

よりよい社会を築くという普遍的な目標の実現において、いかに役割を果たし続けられるかが重要なテーマになります。協同組合が協同し、各種課題に取り組んでいく必要があり、滋賀県生協連には協同組合間協同がより進むようリーダーシップを発揮いただくことを期待します。

生活協同組合コープしが

勝 景子 代議員



滋賀県生協連は、さまざまな分野の生協が集まり、連携と協同をはかるとともに、協同組合間、行政や諸団体との連携強化にも大きな役割を果たしています。

ひとつの生協ではできないことも、みんなで力を合わせ、支え合い、助け合うことでカタチにできる集まりだと思っています。組合員同士だけでなく、ひとつの生協の枠を超え、地域の住民同士も、学びあい、つながり合い、伝えあひながら、平和で、誰もが安心して暮らせる未来を、みんなでつくっていきましょう。滋賀県生協連がその架け橋になることを期待します。

しが健康医療生活協同組合

立入 善治 代議員



湖南市の公共交通事業の現状について、路線が減便縮小されている中、免許を返上し買い物に行けない、病院にもいけない高齢者の独居世帯が増えています。働き手の不足、運転手の不足もあり、このようなことが各地域で起こっています。このような地域課題を解決していくためにも行政や諸団体と協働することが大切と認識して取り組みをすすめていきたいと考えています。

滋賀県職員生活協同組合

榎 奈緒美 代議員



長年、環境にこだわった取り組みの一つとして、買い物袋の持参に取り組んできました。今では売店来店者のほぼ100%がレジ袋を辞退しています。また、地域の農業者が栽培されたものや、地域の農水産物の加工品を販売するなど、地産地消や地場産業の育成・発展につながることを心掛けながら事業を行っています。

これからも県生協連や構成生協のみならず、他の協同組合や団体とも連携・連帯して組合員はもとより県民の皆さんの生活を少しでも向上させることができるよう「職域生協」として頑張っていきたいと思います。

滋賀県立大学生協同組合

村瀬 りん 代議員



第1号議案において平和の取り組みについて戦争を知らない私たちは、どこか他人事のような感覚も少なからずあるので、このような活動を通じて「平和」についてもっと学んでいきたいと思いました。

第2号議案においてはたくさんの活動・企画がありましたので、若い世代を巻き込むためにもSNSなどを活用していただくと活動方針「学ぶ、つながる、伝える・伝える」がより深まるのではないかと思います。

滋賀大学生協同組合

春田 小太郎 代議員



第1号議案の取り組みをみて私達も見習っていきたく感じました。会員生協間の交流においては、私たち生協学生委員も他の大学生協と交流し、取り組みを知ることで、自生協に生かして、組合員のくらしをより豊かなものにできるのではないかと、そのことをもって交流を図りたい。

健康については、自分の体は自分の食べたものが作ります。自分で食べ物を選択することが大切であり、生活習慣を考える視点で組合員に啓発していきたく思います。

特別報告 県連平和の取組に参加して

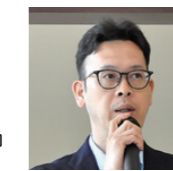


生活協同組合コープしが
高橋 剛太オブザーバー

3月27日～29日で行われた日本生協連と沖縄県連が主催のピースアクションinオキナワ第41回沖縄戦跡・基地めぐりに滋賀県生協連から代表派遣した高橋専務より参加報告をいただきました。

退任役員

本総会をもって退任された理事の皆さん。



第43期県連副会長
柳澤 克哉さん
(滋賀大学生協 専務理事)



第43期県連常務理事
堀川 亨さん
(滋賀県職員生協 事務局長)

懇親交流会

総会終了後、総会参加者により懇親を深めました。



2025年国際協同組合年に向けて

国連は、2024年11月に2025年を※国際協同組合年とすることを議決しました。日本では、2025国際協同組合年(IYC2025)を契機に、日本協同組合連携機構(JCA)が呼びかけ、2025国際協同組合年全国実行委員会(IYC2025全国実行委員会)が2024年7月9日に設立されました。同委員会は広範な協同組合全国組織およびIYC2025の趣旨に賛同した組織の代表者により構成されており、以下のような活動目標を掲げられています。

※国際年とは 一年間を通じて、平和と安全、開発/人権の問題など、ひとつの特定のテーマを設定し、国際社会の関心を喚起し、取り組みを促すために制定されるもの。(例:2021年児童労働根絶のための国際年)

「協同組合はよりよい世界を築きます」-2025 国際協同組合年テーマ-

国際協同組合同盟(ICA)は、2024年6月に2025年の国連国際協同組合年(IYC2025)のテーマを「協同組合はよりよい世界を築きます(Cooperatives Build a Better World)」と発表しました。このテーマは、協同組合モデルがいかに多くの世界的課題を克服するための不可欠な解決策であり、2030年までに持続可能な開発目標(SDGs)を実現する努力を加速させる上でいかに重要な役割を果たし続けているかにスポットライトを当てるものです。

1 IYC2025全国実行委員会の構成メンバー

JAグループや生協の全国組織や農福連携や生活者困窮支援、SDGSなどを推進する組織の代表者が委員であり、JCA第1号会員と第2号会員(全国組織)

代表者等、JCAからの呼びかけに賛同された組織の代表者です。

2 IYC2025全国実行委員会の活動目標

1)協同組合に対する理解を促進し、認知度を高めること

特に協同組合が地域社会の課題解決やSDGsへの貢献など公益的役割を果たしていることを発信します。この際、可能な限り協同組合が連携して発信するよう努めます。IYC2025全国実行委員会(仮称)自らの活動は、オピニオンリーダー、研究者、政府・国会関係者への発信を重視するとともに、し、若年層・大学生の理解促進を図ります。活動を通じて、協同組合をめぐる諸制度の整備に向けた機運醸成を目指します。全国の協同組合組織に対し、学び、実践し、発信することを呼びかけ、これを支援します。

2)協同組合の振興を図るとともに協同の輪を広げること

協同組合の組合員はSDGsへの関心が高く、組合員が増えることで社会を変えていく可能性を秘めています。協同組合への理解者・共感者や組合員の増加を目指します。加えて、協同組合に留まらず広く人と人が協力する社会の実現を目指します。

3 IYC2025全国実行委員会の活動

1)国会・政府等への働きかけ

①協同組合をめぐる諸制度の整備に向けた機運醸成を目指し、国会あるいは政府において、協同組合の価値を評価し、支援する意思を何らかの形で明らかにするよう求めます。

3)地域課題解決のため協同組合間連携や様々な組織との連携を進めること

地域の課題は複雑化・深刻化しており、異種の協同組合や様々な組織と連携して対処する必要があります。各協同組合グループはそれぞれ地域課題解決に貢献するとの方針を掲げており、かつ、機能や得意分野は異なっていることから、異種協同組合は最適の連携相手です。

4)国際機関や海外の協同組合とのつながりを強めること

IYC 2025 は国連決議を踏まえグローバルに取り組まれるものであり、国連機関や ICA、世界の協同組合と連携し活動します。特に、ICA グローバルおよびアジア太平洋地域への参加を通して培った関係を活かし、世界の協同組合から学び、日本の協同組合の取り組みを発信します。

以上を通じて、持続可能で活力ある地域社会の実現に資することを究極的な目標とします。

②学校教育において、これまで以上に協同組合を取り上げるよう求めます。

③国連に対し、日本の協同組合に対するメッセージを出していただくよう働きかけます。

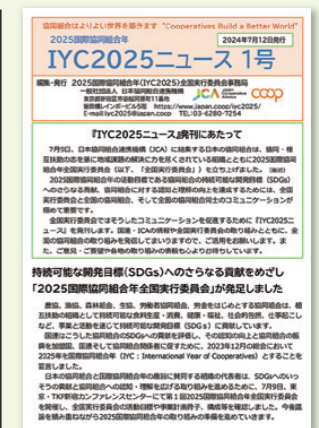
2)IYC2025全国実行委員会自らの実践

- ①協同組合の社会的役割(成果と今後の課題)をテーマに、シンポジウムを開催します。
- ②30歳代を中心とする協同組合全国組織職員で構成するチームを置き、SNSの活用を視野に入れ、若年層の協同組合に対する理解促進のための具体策を検討し、実践します。
- ③日本協同組合学会に協力を求め、協同組合論

講座やキャリアセミナーを実施している大学および同講座を寄付している協同組合組織が参加する交流会の開催を追求して、協同組合論講座等の拡充を目指します。
④ICA声明第7原則(地域貢献)の実践やコミット(計画)を軸とした国際協同組合デー中央集会の開催を追求します。

4 IYC2025全国実行委員会活動スケジュール

①2024年 7月 9日	第1回2025国際協同組合年全国実行委員会設立 * 第102回国際協同組合デー記念中央集会和同日開催
②2024年11月25日 ~31日	ICA総会(インド)IYC2025公式キックオフ
③2025年 2月18日	ICA-AP理事会(開催地:日本)
④2025年 2月19日	第2回2025国際協同組合年全国実行委員会(仮称)IYC2025キックオフイベント(仮)
⑤2025年 7月	第103回国際協同組合デー記念中央集會
⑥2025年 0月	2025国際協同組合年フォーラム(検討中)
⑦2026年 3月	第3回2025国際協同組合年全国実行委員会(仮称)



5 IYC2025全国実行委員会による支援

- 1) イベント、出版物等を認定・後援する制度を立ちあげます。申請に基づきIYC2025全国実行委員会として認定(同委員会と同じ目的で実施されるもの)あるいは後援(類似の目的で実施されるもの)し、国連によるメッセージ、ロゴ、マーク、スローガン等の使用を許可します。
- 2) 組合員、役職員学習用資材を制作、提供します。単位協同組合等での実践の前提となる学習を支援します。
- 3) 広報誌等にそのまま掲載できるようIYC2025に

- 関連したコラム記事を提供します。単位協同組合での組合員等への情報発信を支援します。
- 4) 協同組合役職員が日常的に使用するバッジ、あるいは、プレート等を提供し、ロゴ、マーク等を発信できるようにします。コミュニケーションや学習の契機としてご活用いただけるようにします。
- 5) JCAではICA声明のワークショップ用の学習資材および「協同組合のアイデンティティに関するJCAの提言」の説明動画を提供します。

6 IYC記念滋賀県協同組合協議会では

- 1) 構成団体
滋賀県の協同組合の連携組織は、2012年の国際協同組合年を契機に2013年に、滋賀県農業協同組合中央会、滋賀県漁業協同組合、滋賀県森林組合連合会、滋賀県労働福祉協議会、近畿労働金庫滋賀地区本部、滋賀県生活協同組合連合会の6団体で構成されています。
- 2) 2024年度の活動概要
①研修会開催と目的 9月 11日に開催
・次世代の協同組合・協同組合セクターの団体の活動を支える若手職員への研修・交流会を実施します。
・現在、協同組合原則アイデンティティの見直し案が、JCAにより取りまとめられICAに提

- 出されており、この見直し案について学び、これからの協同組合のあり方について考える機会とします。
- ・同じ想いを持った県内の協同組合人としてお互いの考えを交流しあい、よりよく知る関係づくりの機会とします。
- ②各構成団体の活動や情報提供
・お互いの団体をよりよく知るために活動への参加・参画、情報提供をすすめます。
- 3) 2025年国際協同組合年に向けて
滋賀での取り組みについては、実行委員会を設けず、既存のIYC記念滋賀県協同組合協議会運営委員会にその役割・機能を持たせ、具体的な取り組みについて、現在検討中です。

滋賀県立大学生協同組合

地産地消の取り組み

毎年、滋賀県立大学生協では授業の一環で滋賀にて作られたお米を使ったお酒「湖風」を販売させていただいております。

「湖風」とは、学生団体である滋賀県立大学 日本酒プロジェクトが2011年から地元の企業「喜多酒造」と大学生協と共に、稲作、制作、販売まで関わり作り上げた日本酒です。

若者の日本酒離れを阻止するべく立ち上げられたこのプロジェクト、地産地消・地域共生の観点からも滋賀県立大学生協は賛同しショップでの販売、試飲販売会のお手伝いなどをさせていただいております。

学生と地域が共に活動を推進する中、最終的に販売する手立てとして生協ショップを活用させていただいております。地産地消・地域共生の一環として大学生協が参加できることは大変嬉しく、また大学生協の取り組みとしても学生団体の支援、課外活動の支援をしていきたいので活動に協力させて頂きました。

また滋賀県立大学独自のお酒ということもあり、大学の福利厚生施設を担う生協での販売とさせてい



たいております。

また、毎日1000人を超す学生さんに利用いただいている食堂ですが、こちらでも滋賀県で生産されたお米を農家さんから直接買い付け提供しています。

先述しました大学で作られたお米を期間限定で提供したり、びわサーモン振興協議会とのコラボで行った琵琶湖にしかない固有種ビワマスを使った、びわサーモン丼の提供など地産地消をできる限り推進させていただいております。

地産地消の消費の部分を担当ショップ・カフェテリアにて食育、健康、安心、安全を意識して今後も取り組みを続け、地域共生を盛り上げていきたいと思っております。

滋賀大学生協同組合

2つの生協の合併

滋賀大学には彦根キャンパスの「滋賀大学彦根地区生協」と、大津キャンパスの「滋賀大学大津地区生協」の2つの大学生協がそれぞれ独立した別法人として事業を行ってまいりました。

長年の協議を経て、滋賀大学全体の福利厚生の一元化、サービスの共通化など、生協組合員の学生生活・業務・教育研究等に貢献できるとともに、重複して負担している経費の削減や、経営・運営の改善・効率化を見込み、2023年秋に両生協での臨時総代会を経て合併の承認をいただき、2024年3月に合併の認可があり、「滋賀大学に1つの生協」として「滋賀大学生協」となりました。

大学生協の一番の魅力は、学生組合員さんにとって生活密度が最も高いキャンパス内という、最も近いところで生活を支えられることです。組合員さんからなんで合併したの？と言われることのないよう、取り組んでまいります。



合併調印式
左から、大津地区生協の理事長、合併当時の専務理事、彦根地区生協の理事長

2024年 滋賀県生協連 政策・制度要望書の提出

2024年7月19日理事会で承認された以下の11項目の要望について、7月26日に滋賀県県民活動生活課へ提出しました。

1. 県内小規模食品事業者の衛生管理の向上に向けて
2. 買物困難地域における移動店舗の助成支援について
3. 平和の象徴としての地域づくり
4. 介護事業所として人材確保と基本報酬の再改定、財政支援について
5. 訪問介護の若年層の担い手づくりと介護基本報酬引き上げについて
6. 生活困窮者への医療施策について
7. ヤングケアラーの現状と課題からの要望について



8. 地球温暖化の防止に関する要望について
9. CO2排出量の削減について
10. 歩行者や運転者の安全確保の向上について
11. 地域の防災・減災への取組強化について

11月には滋賀県行政としての回答を受け、行政と生協とが互いに協力し、さらに県民の暮らしに役立つよう懇談会を開催する予定です。

2024年6月・7月・8月の平和の取り組み

国民平和行進の 引継ぎ式と県内行進

6月16日関ヶ原ふれあいセンターにおいて、岐阜県から滋賀県への引継ぎ式に参加しました。岐阜県生協連から託された折り鶴と一緒に県内行進へ参加しました。



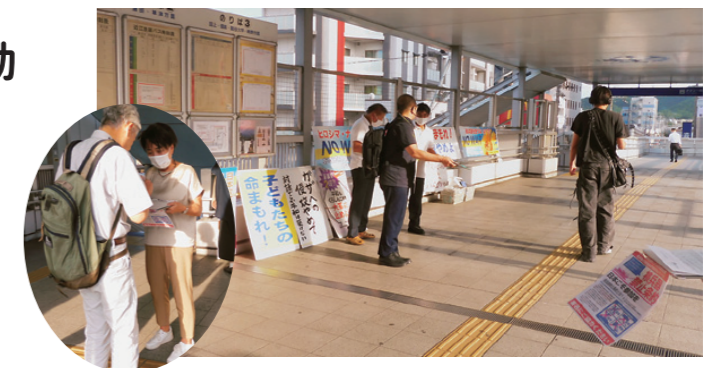
三井寺原爆犠牲者慰霊・ 世界平和祈願法要に参加

8月6日、午前8時15分、広島に原爆投下された時刻に合わせ、三井寺の観音堂において犠牲者法要が執り行われました。会員生協に平和の想いを短冊に記載する参加を呼びかけ、180枚の平和への祈りや願いを届け、風船にその願いを託し飛ばしました。



核兵器禁止条約への批准を 求める県民の会街頭署名活動

8月9日長崎に原爆が投下された日に合わせて、県民の会が午後5時から6時まで実施された石山駅の街頭での署名活動に合流参加しました。通勤者や通学の帰宅途中でもあり、立ち止まり、署名していただける方は31名となったものの、二次コード付き動画や電子署名ができるチラシを100部配布して、家庭からの署名を伝えました。



被爆ピアノコンサートの開催

2024年11月30日(土) ひこね文化プラザ エコーホールに於いて
下記の内容でコンサートを開催します。ぜひ、ご参加ください。

とき 2024年 **11月30日(土)** 13:30~15:30(受付13:00~)

ところ ひこね文化プラザ エコーホール(滋賀県彦根市野瀬町187-4)
JR南彦根駅西口から
湖国バス 三津屋線 三津屋行き(開出今経由)「文化プラザ口」下車徒歩4分
又は湖国バス 三津屋線 市立病院経由三津屋行き「松田団地北」下車徒歩8分

募集 先着**300名**(託児有/申込要)
※小学生未満は託児を申込ください(無料)

参加 **無料**(申込要・先着順・定員次第終了)

プログラム
第1部 矢川 光則さん ピアノの歴史
七瀬 紫さん Minakoさん 歌
佐藤 奈菜さん ピアノ演奏(ソロ演奏)

申込締切 **11月22日(金)**

第2部 ピアノ演奏・歌
朗読
みんなで合唱

テーマ 「いのちのたいせつさを考えよう」

- 目的**
- 1 被爆ピアノの演奏を通して、いのちのたいせつさや平和の尊さを考える機会に。
 - 2 戦争体験を次世代につなぎ、いのちや平和の尊さを考える機会に。

お申込み 滋賀県生活協同組合連合会 事務局

TEL:077-518-0072

滋賀県野洲市富波甲972番地(平日:月~金10時~16時)

E-mail:siga-seikyoren@cooperative.jp

又はFAX:077-518-0078

二次元コードよりお申込みできます →



入場券(はがき)送付のため、お申し込みには必ず、「お名前 郵便番号 住所 電話番号」をご記入ください。

【参加申込欄】

お名前	電話番号	住所(入場券を送付)	託児
		〒	有 無

【託児希望】 おやつ・水筒は持参ください。

お名前	性別	生年月日	特記事項/アレルギーの有無等

※ここに記載いただく個人情報、当団体の活動以外には使用しません。



被爆ピアノコンサート

~命の大切さを奏でる音色~

とき 2024年 **11月30日(土)**
13:30~15:30

ところ ひこね文化プラザ エコーホール
滋賀県彦根市野瀬町187-4

募集 先着**300名**(託児有/申込要)

※小学生未満は託児をご利用ください(無料)

内容 被爆ピアノによるピアノ演奏

歌・朗読 など

参加 無料(申込要・先着順・定員次第終了)



歌 Minakoさん



ピアノ演奏 佐藤奈菜さん



歌 七瀬 紫さん



理事会報告 第1回・第2回 常務理事会 第2回 での主な決定・確認事項

◆第1回定例理事会決定・確認事項(6/29)

- ①第44期役員代表理事の選定
- ②第44期常務理事会体制(役付け理事)について
- ③第44期常勤理事の報酬配分と支給方法について

◆第2回定例理事会決定・確認事項(7/19)

- ①第44期分野別理事協議会の役割分担変更について
- ②2024年行政への政策・制度要望について
- ③第44期役員研修について
- ④6.15石川県輪島市炊き出し支援と費用報告
- ⑤ヒロシマ・ナガサキ・ビキニ被爆展示パネルの貸し出しについて
- ⑥2025年の国際協同組合年に向けた全国実行委員会発足
- ⑦8月9日「核兵器禁止条約への批准・署名を求める」街頭署名活動募集について

◆第2回常務理事会検討事項(8/23)

- | | |
|---------------|-------------|
| ①県連紹介パンフレット作成 | ③新年賀詞交歓会 |
| ②県行政との懇談会開催 | ④第51回通常総会会場 |

今後の主な予定

9 2024 September	4日	第3回平和活動委員会
	6日	滋賀県災害ボランティアセンター運営協議会
	9日	第4回滋賀県労協理事会
	11日	IYC記念滋賀県協同組合協議会運営委員会
	13日	滋賀県農林水産関係試験研究外部評価委員会
	17日	第44期役員研修(~18日) 神戸賀川記念館・人と未来防災センター
	20日	第3回常務理事会/第3回理事会
	24日	関西消費者懇談会 エネルギー基本計画学習会
	25日	IYC記念滋賀県協同組合協議会学習・交流会
	26日	第2回関西地連運営委員会
	28日	第4回きょうされん全国大会inしが実行委員会

